

保健体育

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保体 002-72	A B 198	令和 6 年
4	大日本図書	大日本◆	保体 702	B 5 変形 196	令和 2 年
50	大修館書店	大修館◆	保体 050-72	A B 206	令和 6 年
224	Gakken	学 研◆	保体 224-72	A B 206	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 保健体育(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	東書	大日本	大修館	学研
内容	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	15箇所 ①「傷害の発生要因」では、経過を示したイラストから事故や傷害が起きた原因を考える活動がある。(P69) ②「国際的なスポーツ大会の役割」では、デフリンピックを紹介している。(P164)	44箇所 ①「健康と運動」では、身体活動量の目安の表から、どのくらい体を動かすとよいか話し合う活動がある。(P19) ②該当なし	5箇所 ①「けがの原因と防止」では、イラストを見て危険を予測し回避のための工夫や対策を話し合う活動がある。(P103) ②「さまざまな障害者スポーツの国際大会」では、デフリンピックを紹介している。(P133)	6箇所 ①「食生活と健康」では、ある生徒の食生活をまとめた図を見て、問題点や改善策を話し合う活動がある。(P33) ②該当なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの。	7箇所 ①「心肺蘇生の方法」では、電話を使った119番への通報が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P181)	7箇所 ①「心身の発達と健康」では、リラクゼーションの方法の一つに、音楽を聴くことが示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P51)	7箇所 ①「ストレスと心の健康」では、相談できる場所の電話番号が記載しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P59)	6箇所 ①「傷害の防止」では、雷から身を守る方法の一つとして、雷の音が聞こえてくることが示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P131)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。	①「リラクゼーションの方法」では、リラクゼーションの手順が、イラストと矢印で継続的に示してある。(P178)	①「熱中症の予防と応急手当」では、応急手当の方法がフローチャートで示してある。(P115)	①「運動やスポーツの学び方」では、跳び箱運動の段階的な練習の例がイラストで示してある。(P69)	①「欲求不満やストレスへの対処」では、ストレスへの対処の仕方の例がイラストとともに示してある。(P63)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり

中学部 保健体育(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	東書	大日本	大修館	学研
内容	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの。	13箇所 ①「生活習慣病の予防」では、生活習慣を変えるためのアイデアを考える活動がある。(P93)	7箇所 ①「感染症の予防」では、感染症を予防するための三原則が示してある。(P135)	8箇所 ①「調和のとれた生活」では、1週間の生活チェック表を用いて、自分の生活を振り返る活動がある。(P27)	5箇所 ①「感染症とその予防」では、日常生活での感染予防の具体的な方法が示してある。(P154)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	8箇所 ①「心肺蘇生の方法」では、人工呼吸の実習があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P182)	7箇所 ①「出血があるときの応急手当」では、止血のための応急手当の実習があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P111)	3箇所 ①「心肺蘇生法」では、胸骨圧迫の実習があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P116)	4箇所 ①「体の発育・発達」では、自分に合った運動を選び、取り組む活動を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P45)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に示されているもの。	①各章の最後に学習のまとめとして、キーワード等を枠囲みで示している。(P26など) ②「傷害の発生要因」では、事故や傷害が起きる経過をイラストで示している。(P69)	①各単元名の隣に学習のねらいを背景色付きで示している。(P4など) ②「自然災害の脅威」では、地震や竜巻などの様子を、写真で視覚的に説明している。(P100-101)	①各章の始めに、今まで学習したことやこの章で学習することなどを簡潔に示している。(P62など) ②「運動と健康」では、バスケットボール10分間に相当する活動についてイラストで示している。(P21)	①各単元の始めに学習の課題を背景色と枠囲みで示している。(P46など) ②「野外スポーツの安全な行い方」では、野外スポーツを楽しむために必要な自然に関する知識を表で示している。(P79)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり